

入管法改定

廃案へ高まる世論

非人道性が加速 改悪やめよ



入管法改悪に反対して座り込む人々たち（7月、衆院第2議員会館前（共産党ホームページより））

菅政権が今国会成立を狙う入管法改定案。国際社会から非人道的と批判が相次いでいる入管行政の欠陥を改めるのではなく、在留資格を失った外国人の人権侵害を一層深刻化させる内容です。

審議で大問題になっているのは、今年3月、名古屋出入国在留管理局に収容されていたスリランカ人女性、ウイシュマ・サンダマリさんが死亡した事件。入管が必要な医療を受

日本共産党

けさせず死を招いた疑いが極めて濃厚なのに、菅政権は真相解明に背を向けています。

在留資格のない外国人をすべて収容する「全収容主義」は、国連の人権理事会などから改めるよう求められているのに、要請応えずむしろ逆行しています。世論と運動をさらに広げ、改定案を廃案に追い込みましょう。

コロナ 大阪に医師派遣を

日本共産党の田村智子政策委員長は16日、NHK「日曜討論」に出席。コロナ感染による死亡が急増している大阪府について、「感染者の10%しか入院できない異常事態。自宅で亡くなる方も相次いでいるのに、大阪府知事がなぜ医師の派遣を（国に）要請しないのか。国も要請がないからと言って、医師を派遣していない」と指摘。重

田村政策委員長が主張

症者が治療を受けられない事態を何としても解決するための、国としての取り組みを求めました。

田村氏はまた大阪市内での演説会で「なぜ大阪は国に医師の派遣を要請しないのか。兵庫県は要請して厚労省はDMAT（災害医療チーム）を送っている」と述べ、維新府政の責任は極めて重大だと批判しました。

体調不良も医療受けさせず

ウイシュマさん死亡なぜ

留学生・ウイシュマさんはDVを受け、警察に保護を求めたところビザ失効のため逮捕、収容されました。食事も歩行もできないほど衰弱し、支援団体が「仮放免」を求めましたが、入管に認められないまま亡くなりました。

死亡2日前に診断した医師が

「仮放免」すれば状態改善が期待できる」と指摘したのに、法務省などの報告には記載されず、ウイシュマさんが診察を受けた医療機関の記録に「（薬を）内服できないのであれば点滴、入院」と書かれていたのに、報告では“指示はなかった”と正反対です。

近畿民報

2021年5月 No.3 (第461号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号 ※日本共産党は以上の見解を発表しました。
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

制度解説

衆院選挙
投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます
小選挙区は「候補者の名前」で

比例代表は政党名で投票します。個人名は無効です。